

授業改善プラン 6年

	児童の実態と課題	取り組みの重点	授業改善の成果と課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思いや考えを話して伝えることが苦手な児童が多い。 ・ 学習した漢字を日常の中で活用する力に個人差がある。 ・ 設問の意図が理解できず、的確に解答できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日直のスピーチや授業でのミニ発表など、話す場面を多く取り入れる。 ・ ペア→グループ→全体と、話す(発表する)場面の設定を工夫する。 ・ 作文の学習や日常の学習活動の中で、漢字を使うことを意識付けしていく。 ・ 読書活動を充実させ、読解力を伸ばす。 ・ 文章を読んで要約したり、要旨を捉えたりする場面を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体に発表する場面では、自分の考えをわかりやすく話すことができるようになってきた。 ・ 話を集中して聞くこと、内容を的確に捉えることには個人差がある。 ・ 指導を繰り返したことで、学習した漢字や言葉を日常的に使おうとする児童が増えた。ただ、引き続きの指導が必要である。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史に関する興味関心は、全体的に高く意欲的に学習に取り組むことができる。 ・ 歴史的事項に関する知識を、時代の流れの中で順序立てて理解する力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的事項のイメージをもてるようにするため、視聴覚教材や想像図、写真等の資料を効果的に活用する。 ・ 歴史的事項に関するキーワードをしっかりと押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な手だてにより、歴史に関心をもち、継続して意欲的に学習に取り組む児童が多かった。 ・ ビンゴなどゲーム感覚の学習を取り入れたことで、多くの児童がキーワードを理解し、歴史の大まかな流れを捉えることにつながった。 ・ 資料の読み取りについては、引き続き指導する必要がある。

算数	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末のテストの点数は高いが、数ヶ月後に復習プリントをやると内容を忘れていく児童が多い。 ・自分の考えを言葉で表現することが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中や全校算数、宿題で東京ベーシックドリル等復習問題に取り組みせ、既習事項を思い出させる。 ・ペア学習を多く取り入れ、立式の根拠や、問題の解き方を説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した復習で、基礎的な計算力や知識は少しずつついてきた。 ・ペア学習や教え合いの時間をとることで、考え方をわかりやすく説明できる力がついた。 ・全校算数で児童の苦手な分野に取り組んだことにより、東京ベーシックドリル診断テストの点数が上がってきている。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に興味をもち、意欲的に取り組む児童が多い。 ・進んで実験・観察に取り組むが、仮説を立てたり、結果から考察したりすることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の冒頭で学習課題を明確にし、予想を立てて、実験に取り組ませる。 ・問題解決の学習過程(問題→予想・仮説→方法→結果→考察→結論)を繰り返し行うことで、科学的な思考力・表現力の向上を図る。 ・日常生活と学習の知識が結びつくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の時間をたっぷり取ったことが、実感を伴った理解につながった。 ・課題を解決する前に予想を立て、自分なりに仮説を立てて実験に取り組むことができた。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、頭声発声で歌うことができるが、より深い表現力が必要である。 ・器楽の基礎的な奏法はある程度身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したい自分の思いをもったり、より良い音楽にするためにはどうしたら良いか考えたりする経験を多く積む。 ・歌唱器楽ともに表現する具体的な方法をたくさん経験していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合わせて歌うことに意欲的になった。さらに良いものにしていきたいという思いをもち、具体的な技術も活用して歌うことができるようになってきた。中心となる児童を軸に、全員が自信をもって楽しみながら歌えるようにさらに指導していく。 ・これまでの学習を生かして、より良い演奏になるための気付きや工夫をする姿が見られ、表現することができた。

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見たこと感じたこと想像したことを平面・立体作品に意欲的に表現することができる。造形活動に興味・関心がある。 ・造形作品を鑑賞し、自分の意見を持ち、友達の見解に耳を傾け、認め合いながら作品を楽しく鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現法の取組をし、造形活動への興味、関心が高まるようにし意欲的な造形活動ができるようにする。身近にあるものを造形的に構成したり、伝え合うものを作ったりすることができるようにする。 ・鑑賞を通して友達のをよさを認めることができ、意見を交換していく中で互いの意見によって作品の見方が変わり鑑賞の楽しさを知る事ができるようにし、鑑賞から表現につながる事ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が高まる表現法を提示し、その取組から、造形活動への意欲、集中力が高まる造形活動ができた。また、身近にあるものを造形的に構成したり、伝え合うものを作ったりすることで、自分の思いを豊かに表現する事ができた。 ・名画鑑賞や展覧会の全校生の作品鑑賞を通して友達のをよさを認め合うことが出来、鑑賞の楽しさを知る事ができた。また、鑑賞から意欲的な表現活動につながる事ができた。
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味、関心が高く、すすんで取り組んでいる。 ・基礎的な知識は身に付いている児童が多いが、技能面では経験の差も影響して個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート等での振り返りの時間を大切にし、次の活動につなげられるようにする。 ・意識的にグループ学習を取り入れ、お互いに教え合いながら、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習体験を重ねたことで、家庭科における様々な技能が身に付いてきた。教え合う姿も多く見られた。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が好きな児童が多く、意欲的に取り組むことができる。 ・運動領域によって苦手意識があり、すすんで取り組めない児童がいる。特に持久力や器械運動の技能に課題がある。 ・互いに協力して学び合い、高め合う姿勢には個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動に取り組ませ、基礎的な技能を身に付けさせるようにする。 ・学習カードを効果的に活用し、一人一人がめあてを明確にもって学習に取り組む、学習を振り返ることができるようにする。 ・場を工夫し、それぞれのめあてに合った学習に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの場を意図的に設定したことで、協力し合えずすんで活動することができた。 ・個人差があるが、多くの児童が教え合ったり励まし合ったりしながら活動することができた。